



病院キャラクター「カリヨンの樹」に住むロボットたち

埼玉  
県立

# 小児医療センターだより



## 小児医療センターの取り組み

いいざわ まひと  
事務局長 飯澤 真人

昨年4月に事務局長を拝命しました飯澤真人と申します。当センターには2002年4月から4年間在籍しており、約20年ぶりの配属となります。どうぞよろしくお願いいたします。今回は、当センターの進めている取り組みについてご報告させていただきます。

### 1 病院機能評価の認定更新

当センターは、2019年に公益財団法人日本医療機能評価機構の審査を受審し、認定証の交付を受けました。今年度は認定更新の年に当たっていることから、院内でプロジェクトチームを立ち上げ、病院全体で更新に向けた準備を進めてきました。

更新の審査結果はまだ届いておりませんが、今回の受審を1つの契機として、更なる改善活動を推進し、質が高く信頼される医療を提供できるよう努力してまいります。

### 2 広報活動の強化

当センターでは、広報活動に力を入れています。広報活動を通じて、当センターの姿を発信するとともに、県内の小児医療全体への理解と信頼を得られるように努めております。

ホームページに加え、YouTubeやInstagram、X(旧Twitter)、Facebookを活用し、手術や入院の流れを案内する動画を公開したり、当センターで開催するイベントや当センターの取り組みなどの情報を発信しております。SNSの登録者数、フォロワー数は着実に増えており、特にYouTubeチャンネルの登録者数、Instagramフォロワー数が伸びております。

今後も職員一同で協力し、情報発信を充実させてまいります。皆様に当センターのYouTube及びSNSを登録していただき、ご覧いただけますと幸いです。

### 3 医療連携機関登録制度の導入

当センターでは今年度、医療連携機関登録制度を導入しました。この制度は、一定の基準を満たす医療機関に当センターの連携医療機関として登録していただき、更なる連携強化を図ろうとするものです。

これまでに66医療機関に登録していただきました。引き続き、地域のかかりつけ医の先生方や二次、三次医療機関との連携を深め、相互に協力しながら小児医療体制の強化を図っていきたく考えております。

今後とも、医療の質と安全の向上を図り、県民の皆様には良質な医療を提供すべく努めてまいりますので、御指導、御鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



## 埼玉県立小児医療センターだより 第28号 ご案内

- 事務局長あいさつ……………1
- 診療部門紹介 皮膚科……………2
- 診療部門紹介 遺伝科……………3
- 看護部門紹介 10B病棟……………4
- コ・メディカル部門紹介 視能訓練士……………5
- 第9回地域連携懇談会開催のご報告……………6
- 祝日開院日のお知らせ……………6
- 医療機関の皆様へ 受診のご案内……………6
- 病院へのアクセス……………6

診療部門紹介

# 皮膚科

たまき ぜんしろう  
科長 玉城 善史郎

○診療内容

当科は現在常勤医師2人体制で診療を行っております。対象疾患は小児の皮膚疾患全般ですが、特に母斑（血管腫、異所性蒙古斑、扁平母斑など）のレーザー治療やアトピー性皮膚炎の治療を中心に診療を行っております。その他、色素性母斑や脂腺母斑などの小手術や伝染性膿痂疹（とびひ）や尋常性疣贅（イボ）といった皮膚感染症の治療なども行っております。小児の地域医療に少しでも貢献できるように診療体制のさらなる充実を目指して努力していきたくて考えておりますので、今後とも患者さんのご紹介ならびにご指導をどうぞよろしくお願い申し上げます。

★レーザー治療

異所性蒙古斑、太田母斑、単純性血管腫、乳児血管腫（いちご状血管腫）、扁平母斑などに対して、金曜日午後のレーザー外来にて治療を行っております。広範囲にわたる場合には火曜日の午後に入院して全身麻酔下でも施術を行っております。

★アトピー性皮膚炎

日本皮膚科学会の指針に沿って、保湿剤・ステロイド外用薬を主体とした治療を行っております。近年では、様々な非ステロイド抗炎症外用薬や内服薬、生物学的製剤などが小児でも使用可能となっております。当科でも必要に応じて投与を行っております。

2022年度 初診患者内訳

疾患群	患者数
湿疹・皮膚炎・蕁麻疹など	107
薬疹・GVHD	7
血管炎・膠原病など	10
付属器疾患	66
母斑と神経皮膚症候群	92
血管腫・血管奇形	256
異所性蒙古斑・太田母斑・扁平母斑	255
色素性母斑	98
良性腫瘍	109
感染症や虫刺症	10
その他	50
合計	1,060



レーザー室

スタッフ紹介



たまき ぜんしろう  
玉城 善史郎



ちば かずえ  
千葉 一恵

診療部門紹介

# 遺 伝 科

おおはし ひろふみ  
科長 大橋 博文

## ○診療内容

遺伝科では様々な先天異常症候群に関する診療を担当しています。診療の主な柱は、①診察による臨床的診断、②遺伝学的検査による精密診断、③疾患の自然歴情報に基づいた健康管理、④集団外来も活用した患児・家族支援、⑤遺伝カウンセリングです。この度はその中で独自の取り組みとして集団外来とゲノム診断プロジェクトをご紹介します。

### 1. 集団外来（情報提供と家族交流）

- 1) ダウン症候群総合支援外来(DK外来)。生後6ヶ月未満（参加開始時点）のダウン症候群のある赤ちゃんを対象とした月1回（第2木曜日）、計6回（半年間）のプログラム外来です。毎年約60家族が参加されています。
- 2) 先天異常症候群集団外来。毎年疾患を決めて開催しています。2000年にスタートし約50疾患、計200回以上開催してきました。

先天異常症候群の診断を受けたご家族がもつ不安と孤独は深刻です。この集団外来が少しでもお子さんとご家族への支援になることを願って外来を進めています（ボランティアの方のご支援に心から感謝します）。

### ダウン症候群総合支援外来(DK外来) プログラム

開催月	内 容	担 当
4・10	健康管理について	遺伝科
5・11	運動発達について (赤ちゃん体操)	理学療法
6・12	医療福祉情報	MSW
7・1	食べる機能の発達	栄養学療法 認定看護
8・2	遊びとコミュニケーション	作業療法
9・3	子どもの発達について	臨床心理

### 先天異常症候群集団外来 2023年

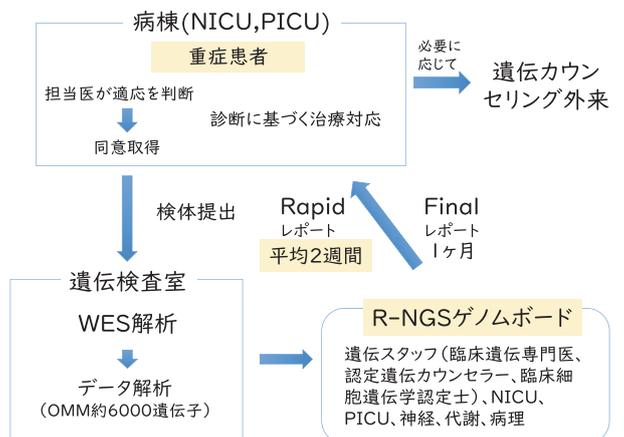
対 象	テ ー マ
チャージ症候群	本人への疾患情報の提供について
9pトリソミー・9pテトラソミー・モザイク	疾患の概要と健康管理
ピット・ホプキンス症候群	疾患の概要と健康管理
カブキ症候群	免疫力とは？ 大切なお子様を感染症から守るためにできること
色素失調症	疾患概要と健康管理
コルネリア・デ・ランゲ症候群	疾患の概要と健康管理・成人期の生活実態調査報告
ウィリアムズ症候群	作業療法の視点によるウィリアムズ症候群のお子さんの発達特性とその支援
18qモノソミー・r(18)	疾患概要と健康管理
22q11.2欠失症候群	22q11.2欠失症候群の子どもの学習サポート — 成功体験を積み重ねることの大切さ —
プラダーウィリー症候群	プラダーウィリー症候群における筋骨格系の合併症 — 整形外科医からのアドバイス —

### 2. ゲノム診断プロジェクト（遺伝検査室）

- 1) 重症患児迅速診断（Rapid-NGS）。NICU、PICUとの連携のもと平均2週間で全エキソーム解析による診断を図ります。
- 2) 分子剖検（Genetic autopsy；GA）。病因不詳で亡くなられた患児を対象にゲノム診断による病態解明を図ります。

ゲノム解析技術の診療への展開として本プロジェクトを2022年度に開始しました。その後1年間の解析実績はRapid-NGS 18例（診断率約50%）、GA 5例（診断率80%）でした。

小児医療において遺伝診療の役割を果たせるようにこれからも努力していきたいと思っております。今後ともよろしくお願いたします。





## 看護部門紹介

# 10 B 病棟



師長 ふるかわ 古川 よしこ 佳子

10B病棟は、循環器科と心臓血管外科、腎臓科を主な診療科としています。心臓の手術は侵襲が大きいため、術後は小児集中治療室に入室しますが、術後の急性期を脱した後は、10B病棟で退院まで支援します。循環器科・心臓血管外科では、先天性心疾患の患者さんの心臓の手術を身体の成長に合わせて段階的に行うことが多くあります。腎臓科は腎疾患の患者さんが突然再発して入院してきますので、スタッフが寄り添って看護をしています。

10B病棟にはこのように新生児期から青年期まで、幅広く治療を受ける患者さんが入院しています。患者さんの成長発達に合わせて、病棟保育士やけやき特別支援学校と連携しながら支援を行っています。



病棟入口ではドラムーチョがお迎えます。



セラピードッグとドキドキ、ワクワクしながらふれ合いの時間です。



クリスマスシーズンにはプレイルームにクリスマスツリーを飾ります。



病棟で超音波検査をすることもあります。



病棟保育士さんが季節の飾りつけをしてくれています。



## コ・メディカル部門紹介

# 視能訓練士



視能訓練士 こばやし 小林 じゅんこ 順子

視能訓練士（常勤2名、非常勤2名）は、眼科医の指示のもと、眼科一般検査、斜視や弱視の検査・訓練を行っています。その他に、視覚障害（ロービジョン）児に対する訓練や相談も担っています。

検査は、視力、視野など従来の眼科一般検査に加え、最近では、いわゆる『スマホ近視、スマホ内斜視』とよばれるスマートフォンやゲーム機器使用による眼症状に対して、屈折や調節検査、眼位検査などを詳細に行っています。また、色覚検査の一つであるアノマロスコープを実施し、診断に役立っています。

視能訓練では、斜視や弱視に対する両眼視機能検査と訓練を、視覚障害（ロービジョン）に対しては、ルーペや拡大鏡など視覚的補助具や遮光眼鏡の選定と訓練を行っています。

最近の話題として、3歳児健診やクリニックにおいて、簡易的屈折検査器（フォトスクリーナー等）の導入が進んでいますが、測定の際は、子どもが動いたり視線がそれてしまうと安定した結果が得られないことがあるため、複数回測定することをおすすめしています。

当センターでは、発達障害やコミュニケーションがうまく取れないお子さんにも対応し、お子さんが落ち着いて検査できる環境づくりに努めています。

眼科検査および視能訓練はすべて眼科医の指示のもとに行っています。  
まずは眼科受診をお願いいたします。



2022年度 弱視訓練新患内訳

弱視訓練	患者数
斜視弱視	27
遠視性不同視弱視	22
屈折性弱視	9
形態覚遮断弱視	9
近視性不同視弱視	6
乱視性不同視弱視	3
合計	76



検査室の様子

## 第9回地域連携懇談会開催のご報告

令和6年2月8日（木）18時半より小児医療センター講堂にて第9回地域連携懇談会を開催しました。5年ぶりに対面での開催が実現し、日頃よりお世話になっております地域の先生方や関係機関の皆様へご挨拶ができました。

ご参加いただきました皆様、心よりお礼申し上げます。今後も皆様の期待に応えられますよう努めて参ります。

地域連携・相談支援センター  
紫藤 直美



## お知らせ

以下の日程を、令和6年度祝日開院日とし、通常どおり外来診療を行います。

5月6日（月）

振替休日

9月16日（月）

敬老の日

令和7年 1月13日（月）

成人の日

SNSぜひご登録ください！



Instagram



X (旧Twitter)



facebook



病院からのお知らせ  
随時更新していきます！

## 医療機関の皆様へ 受診のご案内

### ①患者さん（ご家族）からの予約

紹介元医療機関

紹介状  
(診療科が明記されているもの)

患者さん  
予約の電話

### 予約専用電話

初診受付時間 14:00～17:00(土日祝日除く)  
再診受付時間 9:00～17:00(土日祝日除く)  
一般外来 ☎048-601-0489  
保健発達部門 ☎048-601-2165

患者さん  
来院

### 受診当日にお持ちいただくもの

- ①マイナンバーカードまたは保険証
- ②医師の紹介状
- ③母子健康手帳
- ④医療券（公費負担を受けている方）

### ②医療機関の先生からの予約・お問い合わせ

紹介元医療機関

緊急診療  
(当日診療)の場合

電話交換手へ 緊急性があることをお伝えください  
(365日24時間対応可能)

小児医療センター 代表電話  
☎048-601-2200

- 当日の受診ではないが早期診療が必要な場合
- 該当する診療科が不明確な場合

電話交換手へ 相談内容をお伝えください  
受付時間(9:00～17:00/土日祝日除く)

診療科が明確な場合はその「該当する診療科医師」へおつなぎしますのでご相談下さい

休日・夜間又は、診療科が不明確な場合は「救急診療科医師」へおつなぎしますのでご相談ください

「地域連携室」が対応します  
現在の症状が分かる診療情報提供書をFAXでお送り下さい  
調整後、ご連絡します  
FAX番号: 048-601-2237

## 病院へのアクセス



### ■公共交通機関をご利用の方

- ・JR京浜東北線、宇都宮線、高崎線「さいたま新都心駅」から徒歩約5分
- ・JR埼京線「北与野駅」から徒歩約6分
- ※歩行者用デッキを点線に沿ってお進みください。

### ■お車をご利用の方

- ・駐車場は有料になります。
- ・機械式駐車場には車両のサイズの制限があります。
- ※ご利用の時間帯によっては、車両が集中し、入庫まで大変お時間がかかることが予想されます。できるだけ、公共交通機関のご利用をお願いいたします。

小児医療センターだより第28号  
令和6年3月発行  
編集・発行 埼玉県立小児医療センター  
企画担当



## 埼玉県立小児医療センター

〒330-8777 埼玉県さいたま市中央区新都心1番地2  
Tel▷048-601-2200(代表) Fax▷048-601-2201  
E-mail▷scmc@saitama-pho.jp  
U R L▷https://www.saitama-pho.jp/scm-c/index.html



埼玉県マスコット「コバト」

センター敷地内は全面禁煙となっておりますので、ご協力をお願いいたします。

埼玉県立小児医療センター